

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
FAX番号	06-6915-1202
緊急連絡先	住所と同じ
作成日	2011/08/07
改訂日	2021/08/20

製品名： AZ 切削オイルスプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性

区分 2B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3（麻酔作用）

誤えん有害性

区分 1

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性の高いエアゾール

H229: 高压容器：熱すると破裂のおそれ 2021

H320: 眼刺激

H336: 眠気またはめまいのおそれ

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分及び含有量

鉱油(30-50%)、極圧添加剤、噴射剤(LPG)

化学式または構造式

混合物のため特定できない

CAS No.

企業秘密のため非公表

4. 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。

眼に入った場合：

水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着していなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。

皮膚にかかった場合：

水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。

腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。
風上から消火する。
消火に棒状の水を使用してはならない。
初期の消火には下記の消火剤を用いる。

消火剤： 霧状強化剤、泡粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
風上から作業する。
砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い： 関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
炎、火花または高温体との接触を避ける。
屋外か、屋内であれば通気性の良い場所で使用する。
必要に応じて保護具を着用する。
使用後は手洗い、うがいを十分する

保管： 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
ふたを必ず密閉する。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	3mg/m ³ （鉱油ミストとして）
ACGIH(TLV-TWA)	5mg/m ³ （鉱油ミストとして）
設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。
保護眼鏡	必要であれば着用する。
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	淡黄色液体
密度	約 0.92g/cm ³ (15°C)
溶解性	水に不溶
引火点	180°C (クリーブランド開放式)
発火点	データなし
爆発限界	1.0-7.0vol% (推定値)

10. 安定性及び反応性

安定性	安定
反応性	なし

11. 有害性情報

急性毒性	鉍油	経口	LD ₅₀ >5000mg/kg
		経皮	LD ₅₀ >5000mg/kg
		吸入	LD ₅₀ >5mg/L
刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
慢性毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
発がん性	有用なデータなし		
感作性	有用なデータなし		
変異原性	有用なデータなし		
生殖毒性	有用なデータなし		

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性：有用なデータなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号 1950
品名 エアゾール
国連分類 クラス 2.1
容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。さらに関連法令に従った措置も講じる(品名、数量、火気厳禁の表示、消火装置の設置積み重ねの高さは3m以下にする等。)

15. 適用法令

消防法	第4類第3石油類	危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	通知対象物：鉍油、ブタン 表示対象物：鉍油、ブタン	
PRTR法	非該当	
海洋汚染防止法	油分排出規制（原則禁止）	
水質汚濁防止法	油分排出規制（n-ヘキサン抽出分として）	
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）	

16. その他

- 参考文献
- 1.化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂7版(2017)
 - 2.日本規格協会 JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019
 - 3.独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
 - 4.各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常取り扱いを想定して作成したものです。
SDSは安全の保証を約束するものではありません。
取扱者は状況に応じて使用してください。
SDSの内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。